

第5回第二次昭島市水道事業基本計画策定委員会議事録（要点録）

平成30年2月22日

午後7時15分～

水道部会議室

出席者

委員)

JWRC 技術顧問：伊藤氏

一橋大学大学院社会学研究科：大瀧氏（欠席）

公認会計士：梅澤氏

昭島市自治会連合会：横山氏

昭島市消費生活者連絡会：山下氏

昭島ガス株式会社：井上氏（欠席）

昭島市商工会：清水氏

公募市民：蔵方氏

公募市民：高橋氏

市)

丹羽部長、沖倉業務課長、南澤工務課長、野口庶務係長、高瀬料金係長、
高玉庶務係主任

受託者（東京設計事務所）

馬場、戸来、竹内

1. 【資料1】第4回議事録の確認

第4回議事録について、承認を得ていることを確認した。

2. 【資料2】【資料5】パブリックコメント及び住民説明会について

パブリックコメント及び住民説明会の実施概要及び結果について報告した。

3. 【資料3】【資料4】【別紙】第二次昭島市水道事業基本計画（案）について

パブリックコメントの資料から修正を加えた箇所及び基本計画概要版の構成について説明した。ご指摘は以下の通り。

- ・ 概要版は市のホームページに掲載するのか（伊藤委員長）。
→掲載する予定である（事務局）。
- ・ 概要版 P10「☆経営戦略の要件項目」の「☆」の後に「…」が入るのではないかと（梅澤氏）。

→ご指摘いただいた通りである。修正させていただく（事務局）。

- ・ 平成が30年度までであることは決定しているが、本計画には以降も平成と西暦を併記している。個人的には平成を併記するのは30年度までで良いと思うがいかがか（伊藤委員長）。

→見やすさのため現在のような形にしている（事務局）。

第二次昭島市水道事業基本計画の表紙について2つの案（案①、案②）を提示し、ご意見を頂いた上で、どちらの案が良いか審議いただいた。審議の結果、案①を採用することに決定した。表紙案についてのご意見は以下の通り。

- ・ 昭島市では、ペットボトルのパッケージにあるように水ブランドのマークを採用しているが、これは使用しないのか（山下氏）。

→基本計画の表紙としては採用しないが、裏表紙には掲載を検討したい（事務局）。

- ・ 案②の六角形は何か意味があるのか（横山氏）。

→「ちかっばー」の河童（甲羅）のイメージである（事務局）。

- ・ 両案に言えることだが、理想像を強調したほうが良い。「第二次昭島市水道事業基本計画（案）」についている囲みを取り、理想像の方に着けると良いのではないか（伊藤委員長）。

→ご指摘の通り修正させていただく（事務局）。

- ・ 案②は少しごちゃごちゃしている印象がある。ちかっばーは裏表紙でも良いと個人的には感じる（高橋氏）。

- ・ 完成した基本計画はどこに配布するのか（山下氏）。

→パブリックコメント時に配布した場所には基本的に配布する予定である。また、本庁舎の行政資料コーナーにも配布する（事務局）。

- ・ 表紙案の理想像では「地下水（たから）」と表記しているが、本文と同様にルビ表記に修正させていただく（事務局）。

4. 【資料6】次回委員会について

次回委員会について、以下のとおり決定した。

- ・ 次回委員会で、第二次昭島市水道事業基本計画及び概要版を市長へ提出する。
- ・ 次回委員会の日程は、平成30年3月6日（火）19時からとする。

5. その他

- ・ パブリックコメントには間に合わなかったが、昭島市消費生活者連絡会の代表から意見を頂いているのでご報告させていただく。アンケートで、災害に備えた水の備蓄についての設問があったが、先日の大寒波で水道管が凍結した際、毎日水道水を汲み替えて備蓄を行っていたため飲み水・生活用水に困らず済んだ経験から、災害時だけで

はなく凍結など非常時全般において水の備蓄を行っていることは非常に重要であると痛感した。この体験に基づき、市では常時水の備蓄を行うことの重要性を改めて市民に伝えてほしい、とのことであった（山下氏）。

→大変貴重なご意見である。広報などでは災害時用として水の備蓄を呼びかけているが、それだけではなく非常時に向けた備蓄を行うよう呼びかけていきたい（事務局）。

- ・ 大寒波の日はどのくらい水道部に問い合わせがあったのか（山下氏）。

→概算で 300 件以上のお問い合わせがあった（事務局）。

- ・ 水道管の凍結による漏水はあったのか（伊藤委員長）。

→給水管の漏水があったが、配水本管の漏水はなかった（事務局）。

以上